

1 学校教育目標

豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子の育成

(1) めざす児童像（重点目標）

自ら学ぶ子〈やる気〉

自ら考え，共に学び合える子

心豊かな子〈笑顔〉

思いやりの心を持ち，自他の命を大切に
する子

たくましい子〈根気〉

めあてに向かって粘り強く挑戦する子

(2) 目指す教職員像

- ① 誠実で礼儀正しく、児童、保護者、地域から信頼される教職員
- ② 子ども一人一人の心を見つめる教職員
- ③ 子どもを伸ばす使命感を持ち、自己研鑽に励む教職員

(3) 目指す学校像

- ① 安心・安全で、地域に開かれた信頼される学校
- ② 子どもも教師もやりがいを感じる，活気のある学校
- ③ 清潔で，明るく笑顔があふれる学校

2 学校経営の方針

「オール古城・チーム古城の学校経営」

- (1) 千葉県及び旭市教育委員会の学校教育指導の指針に基づき、知・徳・体のバランスのとれた教育課程を編成し、児童主体の教育活動の展開に努める。（次期学習指導要領完全実施を見据えて）
- (2) 保護者や地域の期待を踏まえ、特色ある教育の推進により「信頼される学校づくり」「地域と共に歩む学校づくり」の推進を図る。
(社会に開かれた教育課程づくりを目指して)
- (3) 全職員が学校教育目標と目指す児童像をしっかりと捉え、その実現に向けた組織マネジメントによる着実なプラン・実践・改善・充実を図る。
(学校参画・人材育成)

3 学校教育目標の具現化

	自ら学ぶ子〈やる気〉	心豊かな子〈笑顔〉	たくましい子〈根気〉
高	自ら考え、 共に学び合える子	思いやりの心をもち、自 他の命を大切にする子	めあてに向かって粘 り強く挑戦する子
中	課題をもち、 学習する子	思いやりの心をもち、協 同する子	めあてに向かって挑 戦する子
低	進んで学習する子	きまりを守り、友達とな かよくする子	めあてをもって がんばる子

4 学校教育目標具現化のための重点項目

(1) 『確かな学力』を育む

① たえまない授業改善

学習習慣の確立

・チャイム着席と学習準備 ・授業規律「ぐう ぺた ぴん サツ」

主体的・対話的で、深い学びの実現に向けての学びの過程の充実

・主体的な学び【意欲の持続】

課題を自己のものにする。振り返る。次の課題へつなげる。

・対話的な学び【言語活動・体験活動】

協働。対話。自己の考え方を広げる。

・深い学び 【習得・活用そして探究へ】

新たな問いへ。自己の考えを総合的に形成する。

② 体験的な活動の充実（ふるさとの教育力の活用）

社会科見学（大原幽学記念館、市内商業施設など）

栽培体験学習（田植え・稲刈り、サツマイモ栽培、草花栽培）

古城地区社会福祉協議会との連携行事

③ 読書活動の充実

読み聞かせボランティア・図書館司書の活用

読書がんばり賞の授与

④ 基礎的・基本的な学習活動の定着（漢字検定・計算検定）

⑤ 家庭学習の習慣化

自学ノートを活用

「家庭学習の手引き」の配付

学級便りへの学習進度と家庭学習のヒント掲載

(2) 『思いやりのある豊かな心』を育む

① 特別な教科「道徳」の授業の充実と研修

道徳ノートの活用と評価（校内研修）

旭市青少年意見発表会 全校集会での児童による発表

(5) 『グローバル化に対応した教育』を進める

①地域の歴史・伝統文化等の理解、継承

歴史学習（6年生） 地域学習（4年生）

②語学力・コミュニケーション能力等の育成

外国語活動・外国語授業の充実と研修
中学校英語教諭による特別授業

(6) 『地域とともに歩む学校づくり』を進める

①学校情報の積極的な発信

地域への学校便りやお知らせ等の回覧 HPによる情報発信
行事・授業の公開

②地域の教育力を活かした教育の推進

お年寄りとの交流会 古城っ子フェスタ（学校開放）
歴史学習、地域学習、栽培学習等での地域講師を活用
花いっぱい活動（地域） グランドゴルフ教室
小さな親切運動（親切の木、あいさつ運動）

(7) 『安全・安心な学校づくり』を進める

①事故防止のための施設・設備の管理、営繕の徹底

複数の職員による日常的な点検と素早い報告、修繕
環境美化（草払い等）

②安全教育の徹底と危機管理体制の確立

ワンポイント避難訓練 薬物乱用防止教室（5～6年生）
危険を予測し自らを守る防災、防犯、交通安全（避難訓練の工夫等）
子ども110番の家の確認（児童、教職員）と増設
スマホ・ケータイ安全教室 AED教室【再掲】

(8) 『一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育』を進める

①個別の指導計画、個別の教育支援計画に基づいた特別支援教育の充実

外部講師を招いての特別支援教育研修会

②家庭・地域及び関係機関との連携の推進

特別支援アドバイザーの活用
医療連携（担当医、担任、保護者等）の実施

(9) チーム古城・オール古城を合言葉に、職員のモラルを高め、より良い働き方を考える

①出退勤時刻を記録し、自分の働き方を自分自身が知る。

ICTを利用した出退勤記録の実施
3時間以上の超過勤務日数を減らす

②校務分掌の見直しと効率化を図る。

校務分掌の平均化により、一部の職員に負担が集中しない組織づくりを行う。
必要に応じた校務分掌の見直しを行う。